

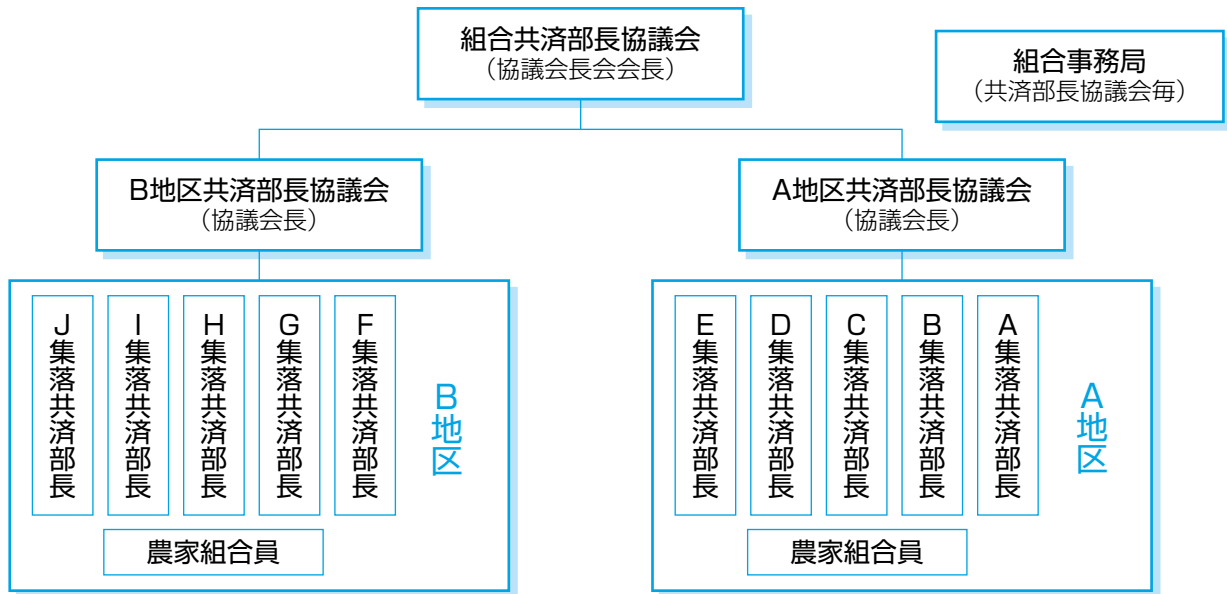
NOSAI 基礎組織 等

◆ NOSAI 事業における共済部長組織の役割

NOSAI 事業は、農家の相互扶助を基本としており、事業の運営は、制度発足以来、農村集落等に支えられてきました。組合では、集落単位にその代表者として共済部長さんを置き、組合と農家との連絡を効率的に行うために、組織体制（共済部長組織）を整え、組合との“橋渡し役”として、各種連絡業務、損害発生通知の受理等をはじめとした日常の業務運営に関する業務のほか、制度の普及、加入推進についても主に共済部長さんを通じて行っており、事業運営上、共済部長組織は必要不可欠なものとなっております。また、県内2組合では、「女性の会」を組織し、主に共済部長の夫人を中心に、NOSAI 制度の仕組みを学んだり、地域社会への貢献活動を積極的に進めており、NOSAI 制度への理解促進の一翼を担っていただいております。

※組合によって協議会組織は共済部長のほか、役員、総代、損害評価会委員、損害評価員ら NOSAI 関係者全員で組織している例もあります。

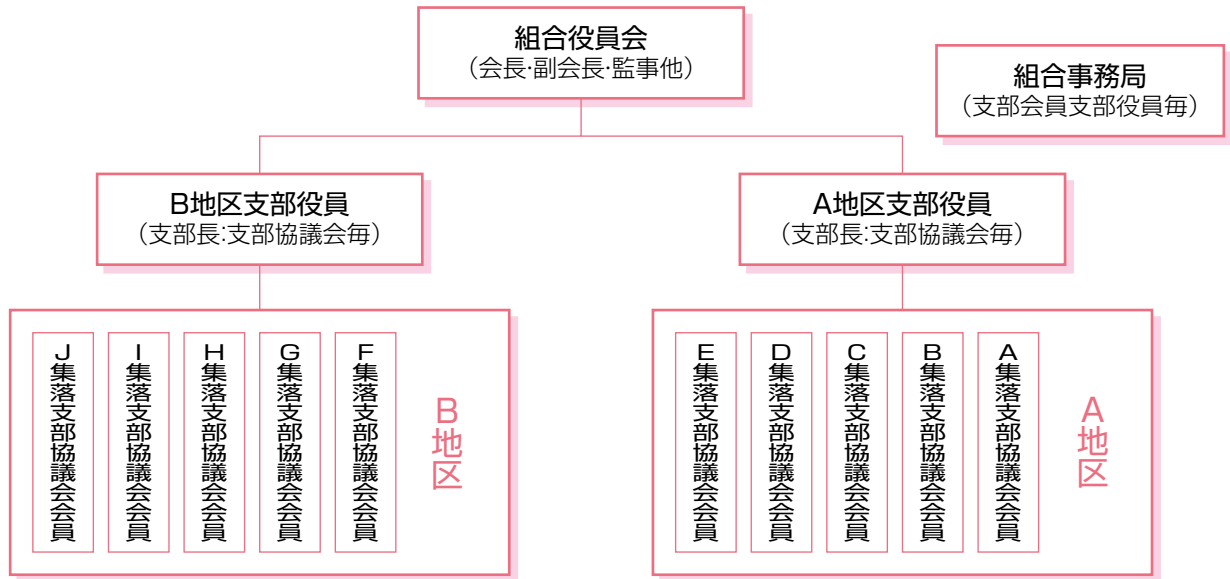
■ 組合共済部長協議会組織(例)



■ 地区共済部長協議会名と共済部長数 (平成22年4月1日現在)

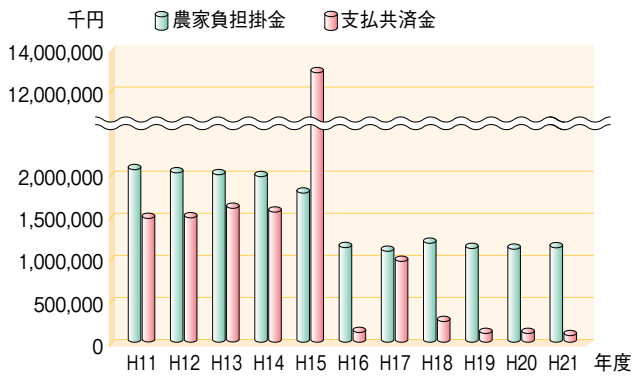
組合名	名称	地区協議会数	地区名	共済部長数
盛岡地域	地区協議会	27	本宮、太田、厨川、盛岡東、滝沢南、滝沢北、雫石、御所、御明神、西山、岩手、葛巻、玉山、安代、松尾、西根、日詰・赤石、古館・水分、志和、彦部・佐比内、赤沢・長岡、徳田、煙山、不動、見前、飯岡、乙部	834名
岩手中部	地区共済部長協議会	31	花巻、矢沢、宮野目、湯本、湯口、太田、笹間、大迫、石鳥谷、八幡、八重畑、新堀、土沢、小山田、中内、谷内、黒沢尻、立花、稲瀬、鬼柳、飯豊、二子、更木、黒岩、口内、相去、藤根、和賀、江釣子、湯田、沢内	648名
胆江地域	地区共済部長協議会	27	水沢、佐倉河、真城、姉体、羽田、黒石、岩谷堂、愛宕、田原、藤里、伊手、米里、玉里、梁川、広瀬、稲瀬、小山、南都田、若柳、前沢、古城、白山、生母、中央、北部、永岡、衣川	518名
磐井	地区共済部長協議会	35	一関、山目、中里、真滝、巖美、萩荘、弥栄、舞川、平泉、長島、涌津、油島、花泉、金沢、老松、日形、永井、大原、摺沢、興田、猿沢、渋民、藤沢・保呂羽・大筆、黄海、八沢、千厩・磐清水、小梨、奥玉、長坂、田河津、松川、折壁、矢越・津谷川、薄衣、門崎	493名
東南部	地区共済部長協議会	34	遠野、綾織、小友、松崎、附馬牛、土淵、青笹、上郷、宮守、達曾部、鱒沢、世田米、下有住、上有住、日頃市、立根、猪川、末崎、赤崎、綾里、越喜来、吉浜、広田、小友(高田)、米崎、高田西部、矢作、気仙、栗橋、鶴住居、甲子、唐丹、大槌1、大槌2	531名
宮古地域	地区共済部長等協議会	14	宮古、津軽石、花輪、山田、豊間根、田老、新里、川井、岩泉、小本、安家、小川、大川、田野畑	325名
岩手北部	地区共済部長協議会	33	福岡・石切所、仁左平、斗米、御返地、金田一、一戸・浪打、鳥海、小鳥谷・姉帯、中山、軽米1、軽米2、小軽米、晴山、山内、大嶺、浄法寺、太田・梅田川、岡本・川又、戸田、伊保内、江刺家、久慈、長内、宇部、山根、大川目、夏井、侍浜、種市、山形、大野、野田、普代、	580名

■ 組合「女性の会」組織(例)

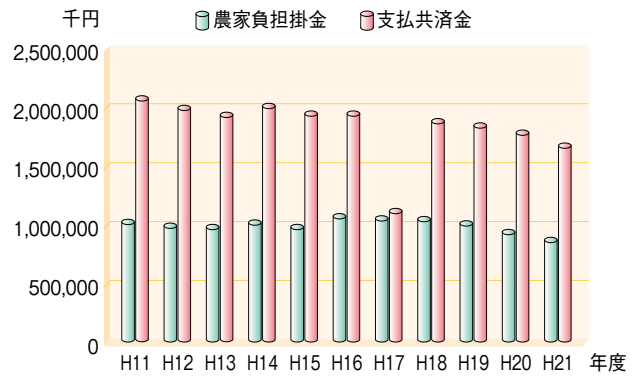


資料 共済掛金と支払共済金

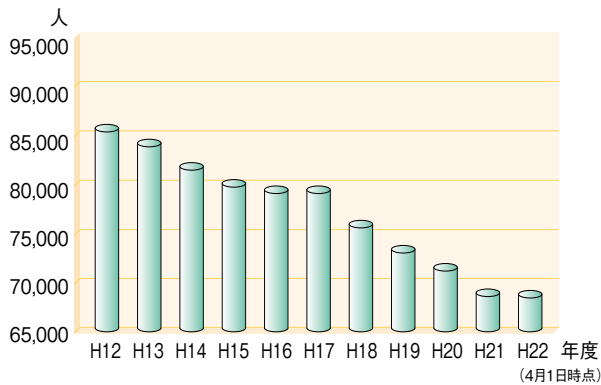
水稲共済掛金負担額と支払共済金の推移



家畜共済掛金負担額と支払共済金の推移



農家組合員数の推移



組合職員数の推移

